

ライブセミナー導入ガイド

～ はじめてライブセミナー導入を検討されている方へ ～

なぜライブセミナーか？

新型コロナウイルスは、私たちの社会スタイルのあり方に大きな変化をもたらしています。会場に多くの人を集めて実施するセミナーも変化させざるを得ないものの一つです。そのような背景の下、会場に人を集めるスタイルからインターネットを通じた配信スタイルに変更したり、あるいは併用させようとしている方々が急増しています。

セミナー配信スタイル

セミナー配信スタイルには、大きく分類すると、ライブ式とオンデマンド式があります。
その違いは次の通りです。

	ライブ配信	オンデマンド配信
特徴	講演者（講師）の説明を、映像・音声付きで生放送します。	別途作成したデジタルコンテンツをウェブサーバー上に配置し、それを閲覧者がいつでも閲覧できるようにするものです。
メリット	<ul style="list-style-type: none">・視聴者同士がチャット等を通じて繋がり、飽きさせません。・視聴者からの質問等に即座に返答したり、臨機応変に説明方法を変えたりできます。・デジタルコンテンツ作成の時間を要しないため、タイムリーな情報提供に向いています。	<ul style="list-style-type: none">・同じ内容のものを継続的に繰り返し配信する用途に向いています。・閲覧者にとって、いつでも好きな時に閲覧できる利便性があります。
デメリット	<ul style="list-style-type: none">・配信の日程・時間を限定するので、スケジュールリングの手間を要します。・同じ内容のものを繰り返し配信したい用途に不向きです。 <p>（*この用途の場合、初回はライブ配信をし、それを録画して2回目以降はオンデマンド配信に切り替える方法が一般的です。）</p>	<ul style="list-style-type: none">・閲覧者とのリアルタイムコミュニケーションが取れないので、閲覧者の質問・疑問に、即座に回答することができません。・配信するデジタルコンテンツを作成する手間を要します。・タイムリーな内容（時間経過とともに価値が下がる内容）の配信に不向きです。
ロゴスウェアの該当製品	LOGOSWARE GigCast	LOGOSWARE STORM

このドキュメントでは、ライブ式のセミナー配信（ライブセミナー）を実現したい方々に向けて、実現方法やシステム選定のポイントなどを解説していきます。オンデマンド式のセミナー配信に関心のある方は、LOGOSWARE STORM（URL: <https://suite.logosware.com/storm-maker/>）をご覧ください。

ライブセミナーの種類とお薦めソリューション

ライブセミナーにもいくつかの種類があります。まず最初にその分類をしておきます。

なぜならば、ライブセミナーの種類に応じて、最適な実現ソリューションは変わってくるからです。

ライブセミナーの種類を分類するには、次の3つの基準を使います。

- ・ 参加人数
- ・ 開催頻度
- ・ 配信場所

これらの基準を使った分類と各々のお薦めソリューションは次の表のようになります。

参加人数	開催頻度	配信場所	お薦めソリューション
500人以下	月1回以上配信	会議室 (会場参加者なし)	GigaCast 共有クラウド
		会場 (会場参加者あり)	当社パートナー業者の利用 (*)
	数か月に1回程度	会議室 (会場参加者なし)	<コスト重視の場合> GigaCast共有クラウド
		会場 (会場参加者あり)	<効率重視の場合> おまかせGigaCastライブセミナー
500人以上	月1回以上開催	会議室 (会場参加者なし)	GigaCast専用クラウド
		会場 (会場参加者あり)	当社パートナー業者の利用 (*)
	数か月に1回程度	会議室 (会場参加者なし)	おまかせGigaCastライブセミナー
		会場 (会場参加者あり)	当社パートナー業者の利用 (*)

* 会場からの配信（会場参加者あり）の場合は、配信設備の準備、設置および操作等を会場ごとに調整する必要があるため、配信の難易度が上がります。そのため、ライブセミナー配信の経験豊富な当社パートナー業者を利用することを基本としています。

各おすすめソリューションの特長

	GigaCast 共有クラウド	GigaCast 専用クラウド	おまかせGigaCast ライブセミナー	当社パートナー 業者の利用
最適な用途	費用を抑えたい小規模セミナー開催者向け	大規模セミナーを高頻度で配信したい方向け	配信に関するさまざまな手間（システム習得、機材準備等）を省きたい方向け	会場（会場参加者あり）のセミナーでインターネット配信も併用したい方向け
機材の準備	お客様自身で準備（オプションあり：機材貸出し）	お客様自身で準備（オプションあり：機材貸出し）	ロゴスウェアから必要機材を貸し出し	パートナー業者との個別相談
システムの操作	お客様自身で操作（オプションあり：運営支援サービス）	お客様自身で操作（オプションあり：運営支援サービス）	ロゴスウェアが操作	パートナー企業が操作
配信場所	お客様自身で用意（オプションあり：当社スタジオ利用）	お客様自身で用意（オプションあり：当社スタジオ利用）	当社スタジオ利用 or お客様自身の会議室の選択可	お客様自身で用意
関連ウェブサイト	LOGOSWARE GigaCast https://powerlive.logosware.com/	LOGOSWARE GigaCast https://powerlive.logosware.com/	おまかせGigaCast ライブセミナー https://service.logosware.com/live-seminar/	まずは、ロゴスウェアへお問い合わせください。

<オプションの補足説明>

機材貸し出し <https://powerlive.logosware.com/assist/rental/>

はじめての方にとって、カメラやマイク類を最適に設定するのはちょっと面倒で時間のかかる作業かもしれません。そんな時は、機材貸出しのオプションをご利用ください。ライブセミナーを実施するのに必要なパソコン、カメラ、マイクを設定済みの状態でお貸しします。

料金は、2週間 14,000円です。

運営支援サービス <https://powerlive.logosware.com/assist/operation/>

ライブセミナーを実施するにあたっては、システムの使い方を習得して、その操作をしなければなりません。はじめてライブセミナーを実施する方やたまにしか実施しない方にとっては、これは大きな障壁です。ちょっと面倒な上、慣れるまではミスも犯しがちです。そんな場合は、運営支援サービスのオプションをご利用ください。面倒で難しい作業はすべてロゴスウェアで受け持ちます。最初の数回だけ運営支援サービスを利用し、慣れてきたらご自身で操作というやり方もお薦めです。

スタジオ利用

会社によっては、社内のインターネット環境にさまざまな制限がかけられている場合があります。それらは、アクセスできるサイトの制限、利用できるポートの制限、使用できる帯域の制限などです。これらの制限によって、ライブセミナーのようなストリーミング動画のライブ配信が出来ない環境が存在します。これらの制限は、社内IT管理者と相談すれば解決する場合はほとんどですが、その時間が取れない、あるいは面倒である場合も少なくありません。そのような方々のために、ロゴスウェアでは当社の配信スタジオをお貸ししています。

<https://powerlive.logosware.com/assist/on-air/>

必要な機材とシステム

整理すると、ライブセミナー配信に必要となる機材と回線は下記の通りです。

機材

- ・ パソコン
- ・ カメラ
- ・ マイク

これらの機材をご自身で用意する場合は、「[配信機材のご紹介](#)」のページをご覧ください。

オプション「[機材貸し出し](#)」をご利用いただければ、上記機材一式をお貸しします。また、「[おまかせGigaCastライブセミナー](#)」では機材貸し出しは標準提供ですので、ご自身でご用意いただく必要はありません。

インターネット回線

ライブセミナーを安定的に配信するためには、インターネット環境も重要です。必要な回線スピードが確保され、必要なポートが使える回線が必要です。

ご自身の会社のインターネット回線がライブセミナー配信に適したものであるかどうかは、[回線テスト](#)を実行するとわかります。

もし異常がある場合は、次のいずれかの方法で解決します。

1. お客様の社内 IT 管理者に相談し、調整してもらう

その際は、「[通信許可のお願い](#)」というドキュメントをIT管理者にお渡しください。

2. ログスウェア提供の配信スタジオを利用

ログスウェアが用意したスタジオから配信することも可能です。

スタジオには、配信に必要なパソコン、カメラ、マイク類も一式整備されています。

配信スタジオ利用は、オプション「[Webセミナー運営支援サービス](#)」内の一つのサービスとして提供します。

選定チェックリスト

ここまで、ロゴスウェアのソリューションを中心として説明してきました。ロゴスウェア以外にもライブセミナーのソリューションは提供されていますし、お客さま自身でも、いくつか比較をしたいはずだと思います。その際に、私たちが重要であると思うポイントを表にしてみました。選定の参考になさってください。

1. 運用支援がリーズナブルな価格で提供されているか

なんで重要？	ロゴスウェアではどうなっているのか？
ライブセミナーは、配信者が注意しなければならない箇所がいくつもあるので、はじめての方やたまにしか実施しない方には不安が大きいと思います。慣れるまでは支援が得られるかどうかは重要です（しかも、安い値段で）。	GigaCastクラウドの利用者向けに、オプション「 Webセミナー運営支援サービス 」が提供されています。必要な支援を丸ごとパックにして、2時間セミナーが44,000円～です。 ライブセミナー配信システム利用料と配信支援サービスをすべてセットにした「 おまかせGigaCastライブセミナー 」もあります。

2. スタジオがリーズナブルな価格で提供されているか

なんで重要？	ロゴスウェアではどうなっているのか？
会社のインターネット環境はさまざまな使用制限がかかっていることが少なくありません。ライブセミナーに適さない環境もあります。そのような場合は、スタジオを貸してくれるサービスがあると便利です（しかも、安い値段で）。	GigaCastクラウド利用者向けオプション「 Webセミナー運営支援サービス 」で配信スタジオを提供します。 ライブセミナー配信システム利用料と配信支援サービスをすべてセットにした「 おまかせGigaCastライブセミナー 」でもスタジオを提供します。

3. 必要な機材類を貸し出してくれるか

なんで重要？	ロゴスウェアではどうなっているのか？
<p>適切なパソコンにカメラやマイクを最適に取り付けて設定するのは、慣れないと面倒で時間もかかります。無駄な時間を節約するために、一式借りられるサービスがあると便利です。</p>	<p>GigaCastクラウド利用者向けにオプション「機材貸出し」が用意されています。パソコン、カメラ、マイク一式がセットアップ済みで提供されます。1週間 14,000円。</p> <p>ライブセミナー配信システム利用料と配信支援サービスをすべてセットにした「おまかせGigaCastライブセミナー」では標準提供されます。</p>

4. 数千人規模での安定した配信実績があるか

なんで重要？	ロゴスウェアではどうなっているのか？
<p>ライブセミナーは、ライブであるがゆえに、配信の安定性は最重要視すべきです。切断、音切れ、遅延などが頻発するシステムは安くても避けるべきです。</p>	<p>GigaCastは、10年以上にわたりサービス提供をし続けています。マイナビによる就活セミナー、ベネッセによる遠隔授業をはじめ、毎日、大量のセミナー配信をし続けている実績があります。また、その規模も時として1万人規模になることもあります。</p>

5. 使用する回線帯域を低く抑えられるか

なんで重要？	ロゴスウェアではどうなっているのか？
<p>一般的に、画質と配信帯域は比例関係にあります。高画質を得るためには、広帯域での配信が必要です。しかし、広帯域での配信は、回線状況の悪い人にとって、切断、音切れ、遅延などのトラブルも引き起こしてしまいます。</p> <p>特に、コロナウィルス対策の影響で、インターネット回線が非常に混雑している昨今、多くの人の回線スピードは遅くなっています。</p> <p>最も望ましいのは、配信帯域をあまり上げることなく、画質を確保できるシステムです。</p>	<p>GigaCastが取っている手法は、スライド領域とカメラ映像領域を別々のプロトコルで配信することです。この手法を取ると、配信帯域を抑えて、画質を確保できます。(他社のシステムの多くはこうなっていません。画面全体に映像配信用プロトコルを使うので、必要とする配信帯域がどうしても大きくなります。)</p>

6. 視聴者は、アプリなし、プラグインなしで閲覧できるか

なんで重要？	ロゴスウェアではどうなっているのか？
<p>スマホなどで視聴する際に、専用アプリを要求されると、インストールに手間がかかるので、何割かの視聴者が脱落してしまいます。</p> <p>最も望ましいのは、標準のブラウザだけで閲覧できるようにすることです。</p>	<p>スマホ、パソコンいずれの視聴においても、専用アプリやプラグイン等は必要としません。標準ブラウザだけで閲覧できます。</p>

7. 映像、スライド、チャットは遅延なしで同期して表示されるか

なんで重要？	ロゴスウェアではどうなっているのか？
ライブセミナーの場合、視聴者からのチャット書き込みはセミナーに臨場感をもたらす重要な要素です。このチャット書き込みなどは、当然、話している映像、表示しているスライドなどと時間的に同期が取られていないといけません。遅延等が生じていると、数分も前のスライドや映像の内容についてのチャットが流れたりして、コミュニケーションがちぐはぐになります。	GigaCast設計時に最も苦心した箇所が遅延の最小化です。遅延を最小限におさえて、双方向のコミュニケーションがスムーズになるように設計し実装しました。 他社システムでは、遅延がかなりある場合があります。配信にバッファを設けた方が（つまり、遅延させた方が）技術的な実装は簡単だからです。

8. ワンショット、年間利用など幅広い料金プランがあるか

なんで重要？	ロゴスウェアではどうなっているのか？
使いはじめの頃と使い慣れた頃では、使用頻度等に大きな違いが出るかもしれません。 減多に使わない時は安いと思ったシステムも、頻度を上げて使おうとすると料金が跳ね上がってしまうということも起こりかねません。 豊富な料金プランがあれば、利用頻度、利用規模などに応じてプランを切り替えていきます。	GigaCastには、クラウドサービスとして次の4種類の料金プランがあります。 <ul style="list-style-type: none">・プリペイド・月額固定（ポイント発行方式）・月額固定（時間帯指定プラン）・従量課金 また、支援サービス付きで、使いたい時だけ料金を支払って使う「 おまかせGigaCastライブセミナー 」も用意しています。

9. 配信者が複数人、別々の場所においても配信できるか

なんで重要？	ロゴスウェアではどうなっているのか？
新型コロナ対策の環境下においては、講演者（講師）の長距離移動にも一定の制限がかかっています。そのため、遠距離にいる講演者（講師）は、長距離出張することなく、その場から配信できることが望まれます。	GigaCastでは、講演者（講師）用のアカウントを複数発行することができます。また、その配信は場所を選びません。各講師が別々の場所からログインして配信が可能です。 加えて、チャット対応などの支援者用アカウントも別々に発行できます。つまり、講演者（講師）、支援者、運用者などが完全に別々の場所からアクセスして運用することが可能です。

10. アンケートがとれるか

なんで重要？	ロゴスウェアではどうなっているのか？
さまざまな目的のセミナーがありますが、実施目的の重要な一つは、参加者の情報を得ることです。それは資料請求の顧客情報であったり、顧客の抱えている要望を知ることであったり、新製品に対する顧客反応であったりします。これらのアンケートが取れることは企業セミナーとしての重要機能の一つであるはずで	GigaCastは、セミナー中にさまざまな形式のアンケートを配信する機能を備えています。アンケートの結果は、リアルタイムで表示できる他、後でセミナーレポートとして入手することもできます。

1 1. セミナーレポートが取得できるか

なんで重要？	ロゴスウェアではどうなっているのか？
<p>セミナーの実施には、一定のコストがかかりますので、効果測定をすることが欠かせません。また、セミナーをこれから繰り返すたびに質を上げていくためにも、客観的なデータを取得して評価することが重要です。</p>	<p>GigaCastでは、セミナー実施後、セミナーレポートとして様々な情報を取得できます。次のような情報が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間推移ごとの参加者人数、チャット数、質問数 ・ チャットの書き込みログ ・ アンケート結果

1 2. 録画ができるか

なんで重要？	ロゴスウェアではどうなっているのか？
<p>セミナー欠席者への対応や同じ内容のセミナーを繰り返し配信したい場合などには、ライブセミナーを録画しておき、後で再生できると便利です。</p>	<p>GigaCastには、録画機能が備わっています。次のように利用可能です。</p> <p><GigaCast共有クラウド></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動画ファイルとしてダウンロード可能 ・ システム上にそのまま配置しオンデマンド配信可能 <p><GigaCast専用クラウド></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ システム上にそのまま配置しオンデマンド配信可能 <p><おまかせGigaCastライブセミナー></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動画ファイルとして納品可能

1 3. 所有している動画ファイルも流せるか

なんで重要？	ロゴスウェアではどうなっているのか？
セミナーの中心はスライド等の説明になるかもしれませんが、ポイントポイントで所有している動画を流せたら便利です。企業イメージビデオ、商品説明ビデオなどを流すことが考えられます。	GigaCastは、配信パソコン内の保存してある動画ファイルを配信することが可能です。 また、この機能を応用すると、「疑似ライブ配信」が実現できます。疑似ライブ配信とは、録画済みのセミナー動画を流しながら、チャット、アンケートだけはリアルタイムで実施するセミナー形式です。

1 4. スライドが読みやすく表示できるか

なんで重要？	ロゴスウェアではどうなっているのか？
企業が実施するセミナーは、スライドを使った説明型が中心となります。そのため、このスライドが鮮明に読みやすく表示できるかは重要なポイントです。	GigaCastは、「プレゼン特化型画面構成」を採用しています。スライド表示領域とカメラ映像表示領域を完全に分離することにより、スライドの鮮明さ、読みやすさを確保しています。

1 5. チャット荒らし防止策があるか

なんで重要？	ロゴスウェアではどうなっているのか？
匿名性の高いライブセミナーでは、稀に、不適切なチャットが書き込まれてしまうことがあります。これを放置すると、配信会社の印象を悪くし、大きなダメージを与える危険もあるため、適切な対処が出来ることが望まれます。	GigaCastには、チャット荒らし防止の機能が備わっています。好ましくない書き込みをする人の書き込みを非表示にしたり、最も悪質な場合は、その人を強制退出させることもできます。